

総社市教育委員会会議録

- 1 開 会 平成30年8月23日 午後2時00分
- 2 閉 会 平成30年8月23日 午後3時47分
- 3 場 所 総社市保健センター2階 資料展示室
- 4 出席又は欠席した委員

出席委員

教育長	山 中 榮 輔
教育長職務代理者	林 直 人
委 員	小鍛治 一 圭
委 員	三 宅 眞砂子
委 員	上 岡 仁
委 員	児 島 塊太郎

- 5 会議に出席した者

教育部長	服 部 浩 二
参事兼庶務課長	弓 取 克 哉
学校教育課長	北 川 和 美
学校教育課主幹	井 上 徹
こども夢づくり課長	小 野 玲 子
生涯学習課長	横 田 優 子
参事兼文化課長	永 田 忠 幸
庶務課主幹	平 田 壮太郎

- 6 会議録署名委員

山 中 榮 輔	上 岡 仁
---------	-------

- 7 付議事件

議案第21号	平成30年度総社市一般会計補正予算（第5号）について	原案可決
議案第22号	平成31年度使用特別支援学級教科用図書の採択について	原案可決

- 8 議事の概要 別紙のとおり

【開 会】 午後2時00分

山中教育長 ただいまから教育委員会を開会いたします。

この教育委員会では議案2件が付議されておりますが、議案第22号については議事の都合により本日の日程の最後にしたいと思っておりますので、ご了承願います。

ではまず会議録の署名員であります。会議録署名員は会議規則第16条により出席者中、上岡委員にお願いします。よろしくお願いします。

山中教育長 では、議案第21号「平成30年度総社市一般会計補正予算第5号について」事務局から説明願います。

各課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいま事務局から説明がありました、議案第21号についてご質問がありませんでしょうか。

林職務代理者 庶務課の学校給食搬送業務委託事業ということで自動車を何台購入するのかということと、生涯学習課のコナミに体育館の使用料を払うという、まったくおかしいという感じがするんですけども、これは何日分の使用料なのかなということ。それから子ども夢づくり課の私立保育所補助事業についてよくわからなかったんですけども、もう1度教えていただけたらと思います。

弓取庶務課長 現在、東西の給食調理場、合わせて5台のコンテナ車で給食を搬送しております。新しい調理場ができますと、これを6台に増やしまして給食を搬送するという予定にいたしております。

林職務代理者 これは1台分じゃないんですよね。

弓取庶務課長 そうです。コンテナ車6台を納車するというので、納車までに期間を要するため早めの契約を必要とすることから、債務負担として計上させていただいております。

横田生涯学習課長 大相撲の会場使用料につきましては、10月の前日19日、当日20日の2日分ですが、メインアリーナ、サブアリーナ、それから武道館の方を使用いたしますので、すべてに係る使用料が約120万ということです。指定管理者ですので本来ですと主催者が使用料を直接コナミさんにお支払するんですけども、その分を、減免して市が会場使用料を持ちましようとして、そうすると市がコナミさんにお金を払ってあげないと使用料の入り部分がなくなってしまうので、管理運営上のお金がそれだけ減らないように支払うということなのです。今回の大相撲に限らず、例えば市が占用してスポーツ祭に使いますという時には、市がコナミさんに会場使用料を払うという仕組みになっています。ちょっと感覚的におかしいなという感じがするかもしれませんが、民間にすべて管理を委託していることからそういう仕組みになっています。

林職務代理者 では、大相撲の売り上げはどこに入るんですか。市に入るんですか。

横田生涯学習課長 主催者がテレビせとうちと山陽新聞社なのでそちらに入るんですけども、結局、必要経費等に費用を要し黒字にならないということで、後援である市が会場費分を主催者の代りに負担するということです。

林職務代理者 勸進元が使用料を払うのかなと思うのですが。

横田生涯学習課長 本来そうですけど、赤字にならないようにということです。

小野こども夢づくり課長 私立保育所補助事業についての内容でございますが、保育士の方の負担を軽減するというので、保育士以外の方でも対応できる、例えば給食ですとか、寝具の準備や片付けなど、それから保育施設の清掃などの業務をする方を雇用することで、1施設当たり月額最大9万円を補助するという事業でございます。

山中教育長 よろしいでしょうか。他にご質問はございませんか。

(質疑なし)

山中教育長 よろしいでしょうか。それではお諮りいたします。議案第21号について可決してよろしいでしょうか。

(異議なし)

山中教育長 ご異議がない様ですので、第21号議案については可決いたしました。

山中教育長 それでは、私から報告をいたします。安全祈願祭が2件、7月26日と27日にありまして、26日は認定こども園、総社保育所の北側にできる、井尻野幼稚園と総社保育所を一緒にした仮称井尻野認定こども園。それから27日は、富原の新調理場の祈願祭。

1日置いて2つあったということで、この時期はかなり災害復旧で大変な時だったんですけども、何とか皆さん集まっていたいて開催することができました。それから8月22日に五つ星学園。これは昭和地区の全幼稚園、小学校、中学校と地域の方という、学校、園が一緒になって地域連携協議会をやるんですけども、今年度の第1回がありまして、私が出席いたしました。この小・中の連携加配というのが今年からついておりまして、学区外からの通学生の割合が今25パーセントということで、学区外が少しずつ増えてきております。それから昭和中学校3年生がG-T E Cの4技能のテストを行いました。全体としては非常にレベルが高いんですけども、その中で書くところが弱い、全国の平均よりは上なんですけれども。

災害復旧につきまして、仮設住宅の建設が始まっておりまして、8月から9月の初めぐらいまでに西公民館前と昭和地区に新しく仮設住宅を建てるということであります。現在、西公民館前にはいわき市から、木造ですけども住宅を運んできてもらっております。1棟建てるのに運賃も含めて800万かかるということでございます。

山中教育長 それでは、次に報告事項に移ります。「平成30年度総社市一般会計補正予算第2号から第4号について」、及び「総社市教育復興子育て基金条例の制定について」一括して事務局から説明を伺います。

弓取庶務課長 【事務局説明】

山中教育長 ただいまの事務局の説明に対してのご意見等はございませんか。

(質疑なし)

山中教育長 よろしいでしょうか。それでは次に「平成30年度全国学力学習状況調査の結果について」事務局からご説明をお願いいたします。

井上学校教育課主幹 【事務局説明】

山中教育長 ご意見等、よろしくお願ひします。

上岡委員 井上先生が最初に言われたように、学力にあまり一喜一憂する必要はないと思うんですけど、小5から小6で落ち込んでいる学校はちょっと指導が要るんじゃないですか。

また、中2から中3ですね。でも中学校の場合はさほど問題はなさそうという感じです。

小学校でいえば、小5、小6は担任がどういう指導をしたんですか、という話ですよ。複式の学級でもそれは言えると思うんで。やはりそれはちょっと、何とかしてちょうだいよ、という話だと思うんですが、概ね良好だと思います。もういい加減に、国もマスコミも1番から一番下の40何番までの間に5点とかそんな中でひしめいているでしょうし、総社市もほぼ全国平均並ですか。そんなことで、安心したらいけないんですけど、今の政策を自信を持ってやればいいんじゃないかなと思いました。

2点目はですね、改善プランってことなんですけど、これは作るとともに実施してもらわなければいけないので、その報告をちゃんとわれわれは聞きたいですし、保護者や地域にどういふふうに説明したのか教えていただきたいと思います。

それから3点目は学習時間のことなんですけど、先程興味深い、中学校3年生で1時間以上が、総社市の場合は51.6パーセントの子どもだったとか。働き方改革等も含めてですね、部活動の過剰な取り組みをちょっと抑えるために、文科省が、週2日休みなさいとか、出ますでしょう。そのラインで言ったら家庭学習の時間はおそらく取れるようになると思うんですよ。だけどそれが、子どもたちがどう過ごすかというのは、それは家庭の教育も得ながらやっぱり学校ときちんと連携をとって、家庭だけでなく地域ぐるみで、子どもたちに学習習慣が付くように、本当は自分で見つけねばいけないものですけどもできないんですから、やっぱり最初は指導が要るんじゃないですかね。強制的になることが入口になったとしてもですね、それが自分の中で取り込まれて、自分で習慣ができればいいわけで、今は何かしないと51.6パーセントで、どうです。終わりましたよ、という話では終わらないと思います。これは抜本的にやっていただきたいなと思います。

4点目は、学力の低い学校は、意識改革も要るんですけど、トップの姿勢が問われるんじゃないかなと思うんです。学力テストに対して校長先生はどういう意識なんだと。たかが全国学力調査なのか、いや、たかがじゃなくてされどなんだと。学習指導要領に含まれている内容を問われている問題なんで、それができなきゃ駄目じゃないかという姿勢なのかどうかですよ。言っちゃ悪いですけど、そういう姿勢で先生方と接してるかどうかはものすごく職員の意識に影響するわけですよ。下がっている学校は、そういうところはこういうふうに職員に言っているのか。いつも言っているのはストレスになるんですけども、いやいやそうじゃない、こうなんだよということをですね。あるいは、今週はちょっとね、朝の時間がずっと使えてないから、来週は朝、各週の5日間の内3日間は問題をしましようというような働きかけ、管理職の働きかけがものすごく大きいんですよ。特に小学校はものすごく管理職の影響で違います。中学校は言うことを聞かないだけです。つまり自主性があるということですけど。小学校の場合は遠慮するんじゃないけど、小学校の校長先生になったら部下に遠慮する場面があるかもわからないですけども、自覚は持っていただきたいなと。持っていないとは、僕は思いませんが、ときには教育委員会との中間面談の時、校長先生には、

どういうふうに行われているんですか、職員にどんな話をされているんですかとか聞いてみてください。

色々言いましたけれど、概ねはいいんじゃないかなと思います。これからも頑張っていたきたいと思います。

山中教育長 ありがとうございます。他に意見がありましたらお願いします。

林職務代理者 昨日お話をした内容について少し報告させていただきますけれども、結局井上先生と打合せをしながら、県の示している授業過程のそういった部分については少し形骸化してるんじゃないかなということですね。やはり本質に迫るような指導というものはどうあるべきなのかということを提案いたしました。また指導に際してはもちろん算数など小さなものを中心なんですけれども、算数Aというふうなところをですね、講座の中で、きちんとそういったものに取り入れながらしてほしいな、ということを行いました。やはり、頭だけではなくて、手も使ったり耳も使ったりとかすることをやってくださいね、ということ。それから、やはりですね、B問題が弱いということの前言ったときにはですね、おそらく算数の問題でも3ページくらいにわたって問題がずっと出てくる、1問に対しまして。そうすると、かなり、読む力がないと、読解力もないとこれはまあ、ちょっとそれは駄目でしょう、という話になりました。ですから、そういったところの国語と算数とかそういったところは全部関連しているんだ、ということをご指導しました。

そういうことをしながら、粘り強く指導していくというのが一番かなということをおっしゃっています。先生方が元気でないといけませんので、やはり元気を出して子どもたちにつける本来の力というものを見据えて取り組んでいただきたいということをお願いした次第です。

家庭学習もありますけれども、やはり時間だけではなくて、量と質と内容、まあ質と量ですけども、どういうやり方なのかというふうな、やはり家庭学習の方法とかその辺の指導もやはり必要ではないかなと。ただやれと言うのではなくて、こういうふうな家庭学習をやるのととても効果的なものである、ということをおっしゃる先生方が研究してそれを子どもたちに示す、というものも必要ではないかなということをおっしゃっています。中学校の先生に聞きますと、どの学校も落ち着いてきているということなんです。これも生徒指導上いい傾向にあるなと思われました。それをより効果的にするためにもやってくれたらいいなと言っております。まあ、そういった諸々のことをお話した次第です。

井上学校教育課主幹 ありがとうございます。東中、西中の家庭学習につきましては、今、取り組みを始めています。これまでの中学校の宿題というのはある教科担任が、例えば英語教員がこの日に宿題を出して1ヶ月後に確認をしますよ、という長いスパンの中で、しかもそれは20ページ、30ページというような形で出していました。その英語科が出したものを数学科の教員は知らない、あるいは社会科の教員は知らない場合があり、今、それぞれ改善を図ろうとしております。つまり、これをもっと短いスパンで、1日1日宿題を、明日までにこれを出すんだよとか1週間後にはこれを出すんだよなど、チェックの期間を途中に設けることやそれぞれの教科が出した宿題を見える化して、いつどの教科にどれだけの宿題が出されているのかという情報共有を図って、過剰な時期が出たり空白の時期が出たりしな

いように県教育委員会と連携しながらやっています。東中、西中は大きな学校ですので、この取り組みが大規模校でうまくいけば、かなり学習習慣については形成されて改善が図られるのではないかと期待しています。年度末には研修も予定しております。

三宅委員 まったく別の観点からなんですけれど、ちょっと疲れた感じで来られる子ども、中学生とかなんですけれど、夏休みでお昼が貧しい食事なんですね、給食が出てないから。で、倒れたとか何とかしてと言って来る子たちに、お昼何食べたのって聞いたら、ラーメンとかチャーハンと言うので、体を作っているのは何ですかって聞いたら、うまく言えない。体、すなわち細胞を作ってるのは、たんぱく質と脂肪です。ご飯じゃないよ。お菓子でもないよって話をしているんですけど、本当に2学期が始まったら、給食で3分の1はきっちり摂れるようになりますけど、学習時間よりも先に、食生活とかを改善していかないといけないのかなと思います。貧血はないけど、鉄が足りないとかたんぱく質が足りないという感じで、ちょっとひ弱な感じの子が出ていますね。ちょっと最近痩せすぎが多いので、そういうのを感じますので、学習時間だけでなく食生活の方もしっかりしていただきたい。ラーメンを食べるのであれば、せめてゆで卵でも入れてってお話をしたんです。そうしたら、ゆで卵作るの面倒くさいんで、お母さんにゆで卵作ってもらって言うから、それならそうしてもらって言ったんですけど、とにかく先生方もお忙しくてラーメンだけで済ませてる先生もいらっしゃるかもしれませんが、せめてゆで卵、チーズなどを一緒に食べていただいて、やっぱりたんぱく質と油、油も必要ですので、お菓子とかご飯、ラーメンは体を作ることには役立ちませんので、そのところよろしくお願いします。

山中教育長 ありがとうございます。僕らも身につまされました。

三宅委員 食事の面でも改善していただきたい。ひいては学力改善にも繋がります。

児島委員 総社市って、小学生は別として、中学生にスマホや携帯なんかを持たせてるんですか。持たせてないんですか。

北川学校教育課長 持たせてはおりますけれど、使い方につきましてはルールを校長会と教育委員会で作りまして、教室では使わないようにするとか、そういったルールの徹底と使い方等につきましては、生徒会の活動の中に取り入れて正しい使い方といいますか、時間や使い方についても自主的に整えていっているような次第です。

児島委員 親が面倒くさいからと言って子どもにスマホを持たせて遊ばせてる。しかもだらだらと。夏休みも宿題をせずにゲームをしたりするかも。今、夏休みの友があるのかどうか分かりませんが、やるんだけどスマホでも遊んでいるとかね。

井上学校教育課主幹 全部お出しできればよかったんですけど、全国の学習状況調査で様々な質問があります。食事のことも実はあります。朝食は食べていますか、というのがあるんです。

先程のスマホに関して、どれぐらいの時間やっているのか、という質問もあります。

県の質問ではこういう聞き方をしています。週末に何をして過ごしますか。ゲームやインターネットをしているという回答は、市では85.8パーセント、全国では82.4パーセント。

北川学校教育課長 県の方では、スマホの所持率や使用時間につきまして把握しています。聞いている範囲では適切に使用していると聞いております。

児島委員 承知しました。

それが使えなければ、それこそ授業で使う場合もあるでしょうし。ただそれを推奨して子どもが本を読まなくなると、読書の時間が少なくなるとは困る。短い文書は書けるけれど、大学生になって論文を書けと言ったらまったく書けない。文章量がまったくなくて長々と自分の考えを書けない、というような学生が増えていますよね。そういうところの改善があるといいなと思うんですけど。例えば、小説だけでなくもいいと思うんですけど、1年に何冊本を読みましたかとか。小学生では難しいだろうけど中学生くらいにはそういうものを提案していく必要もあるのかなという気がします。

北川学校教育課長 今おっしゃるように、読書活動というのは、読み取る力、書く力につながる、国語力の根幹にあるものでありまして、朝読書を始めとして読書習慣の形成というものには随分力を入れているところがあります。ただ、このB問題に反映で来ていないことは学力につながるような取り組みになっていない、この指導要領に沿ったものが足りないんじゃないかなと反省があります。小学校ならできているんですけど、中学校になると確かに読書の時間が減っている。時間だけではなく冊数も減っている事実がありますので、引き続き、重視してまいります。

井上学校教育課主幹 中学生では、1日30分以上読書をしているというのは、少ない順に2時間、1時間、30分となっております。総社市と県を比べてもあまり大きな差はなく、総社市で30パーセントの子が30分以上読書をしているということです。もちろん漫画は除きます。市町村の捉え方によってデータに差がでます。

かつて、学力と本の貸し出し冊数の相関があって、読書量の多い子の学力が高い。それは小規模校で、大規模校は少しだけですが、その傾向がありました。

児島委員 数学、算数、理科は一生懸命教育すれば成績は上がりますけど、文章能力、例えば文を書く、考え方を書いていく力というものはやはり本を読まないと育たないでしょうね。

これからは、入社でも大学入試でもそこを問われることが、これからの世の中で必要になってくると思って、その教育も必要なのかなという気がしますね。

井上学校教育課主幹 学力調査は知力というものだけでなく、人間性も含めて徳育の部分も含めての読書指導ということです。

児島委員 スマホの文字って、確かに文字だけれど、正確には光で、心に訴える力はないし頭に入ってくる力も弱いですね。本のようにして文字になっていると心に訴える力があるし、脳にも残るしね。そういうところをなおざりにせずに、しっかりと小・中学校の時に教育をしておけば、何が大切かっていうのはもう中学校になると判断できますよね。そこが重要なかなって思います。

山中教育長 ありがとうございます。では他によろしいでしょうか。

小鍛治委員 前に話を聞かせてもらいたかったんですけど、勉強の時間というよりも内容だと思うんですが、その前にやっぱり時間の使い方、計画性、自分で時間を計画して色んなこ

とができるような、ご指導いただいていると思うんですけど、そういうところに力を入れていただければ、やっぱりメリハリもできますし、休憩時間には別にスマホをしても勉強の時には勉強に集中できるような、それは自分自身にコントロールできるような子どもたちを作っていただけるようなご指導いただければ、そういう力を入れていただければ、一番ありがたいかなと思います。

中学校で先程出ていましたけれども、やっぱり部活動で非常にいい成績を残して一生懸命やっている子たちっていうのは、勉強時間もやっぱり必然的に要ることもしないとイケないし、トレーニングもしないとイケないんで時間が非常に短いと思いますけど、彼らにお話を聞いたことがあったんですが、やっぱり勉強は授業中に必死にやっている。ということは短い時間に集中して勉強ができていような自分で計画を立てれる、ということだと思うんですね。そういったものを1つ見本というかお手本にして、何かヒントがあれば、そういったところを小学生に教えていただければありがたいなと思いました。

北川学校教育課長 ありがとうございます。おっしゃるとおりで、まさに、部活動のガイドラインをこれから至急に作らなければいけないんですけども、短い、長いというだけの極端な発想でしか考えられない教育が、まだまだたくさんあると理解しております。短くすることで、何をどうしたらより効果的になっていくか、それは運動能力や文化的な能力だけではなく、それが学力とどうつながっていったり人間性とどうつながっていくかということ、子どもと一緒に考えることで、整理していかないといけないなと思っております。

上岡委員 学習習慣にしても部活動にしても、自律、自分で律することを先生方が子どもに、自分で考えて決めて行動して責任をとるんだということですね、自己指導能力といえ別の言い方もわからんけど、そういうことをきちっとやっぱり、県下全域の全教育活動としてみんながベクトルを合わせてやれば、私はそれも身につくんじゃないかと思いますけどね。

落ち着いた環境の中で、きちんとした学習指導と生徒指導がきちっとできとればですね、もう何も問題はないと思うんですけど。けれど、スマホの問題とか色々あったりして、こういう状況なんで、原点に帰って、絞って、重点項目にそれを挙げてもいいかなと思いますけどね。

井上学校教育課主幹 自己管理能力ですね。

上岡委員 自己指導能力ですよ。

北川学校教育課長 キャリア教育の中の1つの柱として取り上げるべき項目ですね。

上岡委員 でもありますし、生徒指導の中核となる力でもあったりする。それは、道徳で言えば自律性なんですけど。

山中教育長 ありがとうございます。他に何か。

(質問なし)

山中教育長 よろしいですか。

山中教育長 それでは、次に、西日本豪雨における状況報告についてお願いします。

服部教育部長 【教育部長説明】

上岡委員 もう警報出てますね。

服部教育部長 強風じゃなくて、大雨ですか。

山中教育長 よろしいでしょうか。他に報告はございますか。

三宅委員 第3クールの子どもの心のケアのところで、仙台市から専門職員を派遣というのを言われましたけれども、これは日本小児科医会が東日本大震災のときに作った子どもの心のケアにそろそろケース3が出てきているところです。今回の被災に際して、かなり子どもたちは守られていて、現場とか何とかよりも早く避難された子が多かったんで、あまりないかなと思うんですが、幼児期、小学生、中学生というふうに分けて、大人にできる対応などが簡潔に書いてありますので、ぜひ見ていただけたらと思います。

これは日本小児科医会のホームページからダウンロードできますので、どうぞ使ってください。子どもの心対策委員会で検索したら出てくると思います。

山中教育長 ありがとうございます。他に報告事項はございませんか。

山中教育長 それでは、次回の教育委員会の日程についてでございますが、ご承知のように9月28日金曜日午前9時30分から開催いたしますので、ご参集をお願いいたします。

山中教育長 この際、10月の教育委員会の日程を調整いたしたいと思いますが、事務局から提案願います。

(10月の教育委員会の日程調整)

山中教育長 それでは、10月は、10月30日火曜日14時から開催いたします。よろしくをお願いいたします。

では、最後になりましたが、議案第22号「平成31年度特別支援学級の教科用図書の採択について」の審議に入ります。

本件については、教科用図書に係る議案であります。案件の内容から、非公開といたします。何か質問ありませんか。

事務局の方はご退席をお願いします。

【非公開審議】

山中教育長 よろしいでしょうか。それでは、これで審議はすべて終了いたしました。本日の教育委員会を閉会いたします。

どうもありがとうございました。

【閉 会】

閉会 午後3時47分

上記記録している内容は、正確であるので署名する。

平成 年 月 日

教育長

委 員

職 員